平成28年11月15日(火)樹木診断会 報告

場所:西小中台住宅 5階建て37棟990世帯の分譲住宅

大きくなり過ぎた木の管理の方法についての講義と、実際に敷地の植栽(樹木)の管理状況を見て 樹木医大矢先生のアドバイスを受けました。

1. 大きくなり過ぎた木の間引きについて

植栽管理も中長期的な計画を立て、大きくなったら一部を間引くなどして日当たりを確保することが望ましいとのこと。

伐採した根は、辺材部分に数カ所穴を空け除草剤を注入れば早期に枯らせることができます。



切株の早期腐植

樹木は中心部の心材(死材)と外側の辺材部分があり、 辺材部に生命活動をつかさどる導管、形成層、師管が あります。大きい木では外側から4cm程度の部分です。

2. 枝の剪定のポイント

バークリッジ(バーク「皮」リッジ「山脈」)と枝の直角線の中間角度で剪定する。 (講義用写真参照)









↑(よくない例) 枝は根本から切って、切り口には保護材を塗り、 雑菌やキノコの菌等が入り込まないようにします。



3. 生垣の管理状況



混植(複数の種類)の生垣は管理が難しい



先生より状況を説明いただきました。



新たに土を入れ替え植栽した垣根(紅カナメモチ)



葉に病気がありました。



← 植栽業者も立ち合い対応方法をアドバイス いただきました。



剪定した方がよい垣根

4. その他 気になる状況



ヒイラギの木(状態はよい)



立ち枯れあり



病気のある木

問合先:千葉市緑化推進協議会事務局(みつとみ)

☎090-6517-8555 Email: c.ryokkasuisin@gmail.com